



発行所 アシュラムセンター  
523-0894 近江八幡市中村町 567-2  
Tel 0748-33-4030  
Fax 0748-33-8856

アシュラムセンターホームページ  
www.ashramcenter.jp

編集 アシュラム誌編集委員会

振替 01050-6-53772  
アシュラムセンター

印刷 明文舎印刷商事(株)

解題

アシュラムとはインドの言葉で「退修」という意味で、スタンレー・ジョーンズ博士によって日本に紹介されたものであります。祈りの生活をもって前に自らを整え、今日に於ける主のご委託にこたえんというのがその願いです。

「旧約の1日は、夕べに始まり(夕方6時)、翌日の日没をもって終わる。それは待望の時である。新約の教会の1日は、早朝の日の出に始まり、翌朝の黎明に終わる。それは成就の時、主の復活の時である」(ボンヘッファー『共に生きる生活』より)。  
ドイツの神学者、牧師であり、何よりもナチスドイツに抵抗し殉教したキリスト者ボンヘッファーは、若い牧師たちを養成する牧師研修所で、キリスト教共同体のあり方について、実践し、またそれを書物として世に問うた。

「旧約の1日は、夕べに始まると祈るのだ。もちろんそれは、決して間違いいではないだろう。しかし、私たちの現実には、そんな思いとは裏腹に、悲しみが溢れ、私たちが祈るの時に暗闇も、それは待望の時であって、必ずや光さず成就の朝を迎えることができるのだと。」  
この言葉は、私たちが希望へと導く。まさに「夕べがあり、朝があった」(創13)である。けれどもここで、私たちは、神の創造の業について、注意し聞かなければならない。

瞑想

夕べがあり、朝があった。

創世記1…13

主幹牧師 榎本 恵

「旧約の1日は、夕べに始まり(夕方6時)、翌日の日没をもって終わる。それは待望の時である。新約の教会の1日は、早朝の日の出に始まり、翌朝の黎明に終わる。それは成就の時、主の復活の時である」(ボンヘッファー『共に生きる生活』より)。  
ドイツの神学者、牧師であり、何よりもナチスドイツに抵抗し殉教したキリスト者ボンヘッファーは、若い牧師たちを養成する牧師研修所で、キリスト教共同体のあり方について、実践し、またそれを書物として世に問うた。

「みなさんの詩を読むと、誰が書いても同じような詩はほとんどなく、作者の切実な思いが伝わってくる。病気のこと、デイケアに通って良い方向に変わったこと、家族や信仰のことなど。その人だからこそ書ける詩が溢れている」と。  
そうなのだ。彼らは皆、心の病に苦しみ、舌筆に尽くしがたい経験を重ねてきた。それは、まさに暗闇であり、夕べである。しかし、その夕べの中からこそ、生まれてきた尊い朝がある。  
友よ、夕べも神はつくられた。私たちは、それを避けることはできない。けれども、その夕べは、決して絶望の夕べではない。神は待望の夕べと共に、成就の時、復活の朝をもつくれたのだから。

自由メソジスト・キリスト教会(ラザリル)

宣教40周年記念感謝特別聖会説教

「汝の足からくつを脱げ」より抜粋 2

榎本 保郎

私が昨年まで仕えておりました今治教会が、98年を迎える事になりました。日本でも歴史の古い教会であります。

熊本バンドと云われる人たちが、同志社神学校を卒業して今治に任命されました。そのバンドの一人で横井時雄という人が今治教会の初代牧師でありました。私が在任中に、丁度、90周年を迎える事になりました。

た。教会の者は90周年を迎えた喜びに満ち溢れておりました。そして、90年の間になされた多くの先輩の功績について讃美していただきました。

そして、私はその感謝礼拝の時に、このような言葉で以て祈ったのであります。

「主よ、私たちの90年の不信をお許し下さった事を感謝いたします。私たちは



アッシュラムセンター創立50周年の時に「百万人の福音」いのちのことば社(1975~1977年)の連載を「本」に。お薦めのお言葉を島隆三師がお書き下さいました。未完の「イエス伝」…是非お読み下さい。

90年を無駄に過ごしました。確かにその90年間には多くの人たちの功績があります。しかし、神さまの恵に比べます時に、それらの事は余りにもつまらないものであります。むしろ、神さまの前に心を痛める事の多かつたことを私たちは思うのであります。しかし、その90年の間、神さまが忍耐を以てこの教会を守つて下さった事を感謝する事が、忠実なる神への祈りであると私たちは信じたのであります。」

この祈りをするのは、私は随分決断を要しました。しかし、この姿勢こそ、90周年を迎えた私たちの教会のとるべき態度であると私は信じたのであります。

40周年を迎えられたフリー・メソジストの親愛なる皆さん。ここで私たちは何を喜び、感謝を捧げるべきでありましょうか。私たちの眼には、イエスの他は何もなかった、と録されてある、そのような状態でなければならぬと思われるのであります。何度も何度も繰り返してまいりましたところの私たちの不

信仰、一切を許して、今日のこの喜びの日を迎えさせて下さいました。

この神さまの御愛の故に今日ある事を私たちは喜んで行かなければならないと思ひます。

神さまの恵は、私たちがいつも越えております。世の中は変わります。人の心は変わって行きます。けれど、神の恵は変わりません。これから80年を迎え、100年を迎え、世の終わりで、私たちの教会は榮えに榮えて行くのであります。その神の御手の中に私たちは守られて行くのです。支えを要するところの腕もありましょう。どんな支障がありまして、この地は聖なる地であり、神が支配している地であり、神の恵が満ちているところの地であり、その事を信じて、一切を神に委ね、私たちが用いようとしておられるところの神の前に用いられてゆく者となる事が、私たちのこれからの歩みではなからうかと思ふのであります。

筆を集めている人がおります。この筆の毛は何とか

いう毛である。これは狼の毛である。そういう由緒ある10万円、20万円という筆が集められている訳です。しかし、小さい箱の中に入れては、筆はたまらな

い。たとえ、10万円の筆であろうと、筆は書かれるためにあるのです。用いられるためにあるのです。筆は決して箱詰めにして蔵つて置くためにあるのではないのです。

しかし、その筆も又、誰に書かれるかという事が大切です。私のような者に握られたら最後です。幸せな手に握られた筆は、その真価を発揮するのであります。皆さん方も、その筆であります。10万円の筆でも、10円の筆であるかも知れません。しかし、弘法筆を選ばずという事があります。神さまの手に握られる時に、私たちの筆の値打ちは問題ではないのです。

私たちは握ろうとしておられる主に、一切を委ねて、主の思いのままに、従つて行こうではありませんか。そこに私たちの栄光があるのであります。(完)

# 第49回京浜アシラムの恵み （原点に立ち返って）



今までこのアシラムを続けてきて下さったこと、そして皆様の晴れやかな笑顔に感謝いたします。

生まれ育った故郷に帰った時に感じる安らぎ。第49回京浜アシラムは、そんな思いに満たされた恵みの時でした。

49年前、第一回京浜アシラムが榎本保郎師の熱き祈りと導きの許に始められました。しかし、それから8か月後に、保郎師は計

り知れない主の御旨によつて、突然のように天に召されました。何から何まで保郎師に頼り切っていたので、残り切れた者たちは途方に暮れました。

保郎師なくしての継続は難しいのではないかと、意見も出る中で、保郎師の尊い志を何とか繋ぎたいとの思いに満たされた者たちが立ち上がりました。

そして、岩波久一師が実行委員長として立てられ、主の導きを仰ぎつつ、また多くの先生方のご支援を頂きつつ、保郎師の思いと祈りを繋いで来ました。

そして今回、「今一度原点に帰ろう」と示され、主奉仕者を榎本恵師にお願い致しました。

恵師が示された主題聖句は、ペトロの手紙Ⅱ3章13節でした。『しかしわたしたちは、義の宿る新しい天と新しい地とを、神の約束に従って待ち望んでいるのです。』

静聴では、ペトロの手紙Ⅱとユダの手紙から「新しい天と地」を待ち望むことの大切さをそれぞれが聴き、ファミリーにて恵みを分かち合いました。

「神の国は近づいた」との約束を信じ、目覚めた者として「今の時」を生きていこう。ユウセベイヤ（信心、敬虔）の点を繋げて線と成している。恵師が渾身の思いを込めて語られた勧めの言葉が心に刻み込まれました。

また、早天祈祷会では島隆三師がサムエル記上3章を通して語られました。

今、教会に求められているのは、幼な子サ

ムエルのように、主の呼び掛けを聴き、それに応える器が起こされること。つまり、あなたがサムエルになることです。

主が、一人一人の隣に座って肩を抱いてくださり、「あなたもサムエルになりなさい」と呼

## 滋伝協ニュースNo.95・96掲載文より 讃美の力

橋本 るつ子

牧師の家庭で育った私にとって、讃美歌はとても身近な歌でした。小さい頃から意味も分からず歌ってきた賛美歌、どちらかという

り私たちは光の子供、ひかりのように明るい子供、いつも明るく励みましょう（禿げ見ましよう）などと歌って追いかけられたり：たくさんの楽しい思い出が？あります。

心惹かれていましたが、クリスマスの時期になると、妹と一緒に、もろびと転びて♪♪♪など大きな声で歌ったり、教会学校の校長先生の禿げ頭を指さしながら、ひかり、ひかり

しかし、成長し讃美歌の意味を考えるようになると、讃美歌にはたましいを揺さぶり、悲しみを癒し、もう一度立ち上がる力が与えられる！と思えるようになりました。その中

び掛けてくださっている。そんな思いに満たされて、そして来年の再会を誓い合って、それぞれの持ち場に帰っていきました。

恵まれた三日間に心から感謝。ハレルヤ！（日本キリスト教団 無任所教師）

→体調の良い日、讃美歌を味わいつつ最後の力を振り絞ってピアノとオルガンのために編曲していました。この2ヶ月後召されました。橋本裕 1982年2月24日 召天。



の一曲をご紹介します。1981年12月、私の主人は肺癌のため、ベッドに横たわることでもできず、一日中ソファーに座ったまま過ごしていました。医者からは見放され、空咳で苦しむ中、なお神さまの癒しを望みつつ、毎日を送っていました。

美歌を置き、五線紙にその讃美歌のピアノとオルガン用の編曲をしていました。まず、讃美歌の英語の原詩を読み味わい、鉛筆を走らせていました。そのような状態で、4曲の編曲を残してくれました。それらは私の宝物です。最後に編曲したのは、讃美歌360番「疲れし心を ながさむる愛よ」です。

この讃美歌の3節の歌詞は「わが世の望みとてりわたる幸よ みちかいの虹を 仰ぎ見つつ道をたどらん」です。それを主人は、英語の原詩から次のように訳しました。「私が苦しんでいる中にも私を訪ねてくる喜びよ、私はあなたに心を閉じるこゝとが出来ません。私は雨が降っている中

にも、虹を描くのです。そして、御約束が空しいもので終わらないと思えるのです。それは、うめきがやがてきつと涙ぬぐわれるようになるためです。」と。讃美歌に日本語の歌詞をつけるには、1つの音符に1つの字しか入れられず、とても難しいです。しかし、本当の歌詞の意味はもっと内容が深く、それを味わって歌うことはとても大切だと教えられました。主人は、この讃美歌を3回転調させ、最後の部分はラフマニノフのピアノ曲を思わせるような華やかで希望にあふれています。こんな力がどこに残っていたのだろうか、と不思議に思いました。それは、この3節の言葉を読み、現実がどんなに厳しくても神さまの約束を信じていく時、きつと今の涙が拭われ、

新しい希望の中に入れられると確信したからだと思います。「この分からないことだらけで行き詰まりの時、主が働かれるのでしよう。お願いです。主よ憐れんでください」と書き残し、1982年32歳で天に召されました。その死は穏やかで、平安に満ちていました。「息ある者はこそぞつて主を賛美せよ。ハレルヤ。」詩篇150編 6節 (安岡教会) (甲西伝道所奏楽者)

いえじま 雑記 19 恩師 C.S.ソン先生!



↑C.S.ソン 博士。2011年、第8回国際正義平和アシュラムin東京、講師。日本キリスト教団出版局から取材あり、雑誌信徒の友12月号に講演内容、写真掲載。

C.S.ソン先生がご逝去されました。ソン先生はアジアの神学という分野の開拓者であり、エキュメニカル運動の発展にも尽力された、台湾人の神学者でした。たしか東日本大震災直後の国際正義平和アシュラムだったと思いますが、そこでソン先生は「笑うイエス」という講演をされ、感銘を受けたわたしは、彼に学ぶために台湾の長栄大学に渡ったのでした。ソン先生に神学を教えて頂いたのは一年半ほどでしたが、とても印象に残っています。世界的な神学者であるのに大変気さくで、学生にもよくくださり、何度かお食事もお馳走になりました。連れて行って頂いたのは庶民的なお店ばかりで(京都でお会いしたときは、いいところを知っていますよとおっしゃって、ついて行ってみると「なか卯」だったことがありました)、ソン先生のお人柄を垣間見たような気がします。もちろん、神学をするということについて、彼から学んだことは計り知れません。九十五歳だったとのこと、彼の生涯に深く手を合わせるばかりです。最後に一目お会いしたかったですが、叶いませんでした。榎本 空 (ノースカロライナ大学院生、沖縄伊江島在住)



# I Love Taiwan Mission (ILT) に参加して 4

ILTの目的の一つは、各国の若者が各教会のサマーキャンプで奉仕をすることです。復興教會でも地域の子どもたちを対象としたレクリエーションを行いました。

この教会は「生きた木」というものを大切にしており、プログラムのすべてに木がありました。木にまつわる讚美歌を手話で歌ったり、木にまつわる絵本を読み聞かせしたり、台湾の木の種を植えたり。なぜ彼らが『阿里山の神木』を紹介してくれたか、そして台湾の子供達がそれを受け継いでいってほしいという思いが伝わってきました。

私はその本を日本語で読み聞かせすることになりました。複雑な気持ちで緊張しましたが、子供達が近くに来てきて聞いてくれたのでとても嬉しかったです。また、それぞれの国の木にまつわる絵本を母国語で読み聞かせ、子供達に多言語、異文化に触れてもらう良い機会となったことも大きな喜びでした。

サマーキャンプの参加者のほとんどはクリスチャンではないご家族でした。なぜ参加したのか質問したところ、この教會では台湾語や文化など台湾のアイデンティティについて教えてくれるからだと答えてくれました。キリスト教の教會がそのような役割を担っている事に意義深さを感じ、また教會と地域でその信頼関係が築かれている事を素晴らしく思いました。

ILTは、今まで教會のサマーキャンプに参加した事がなかった私にとって、貴重な体験でした。さらに初対面の外国人同士で夜遅くまで案を出し合い、準備した時間もかけがえのないものになりました。(つづく)榎本 光太



←サマーキャンプに来てくれた子供たち。



聞かれ感謝です。そして最期には、晴れやかに、この世を終わる事ができますように。どうか最後まで貫き通す事ができますように。

佐々木 敬 93才

(歴・下・7)

〔早天祈禱会の祈りより〕 この者は、年頭アシュラムにZoom参加申し込みましたが、要介護1という認定を受けたばかりです。日光のアシュラムには、コロナ感染し、参加できませんでした。どうか、50周年頭アシュラムには参加できますように。また、施設内で三浦綾子讀書会を始めたという祈りが

みもとに…

石川 あき子 姉

10月27日

(静岡聖書教室の友)

なんと、保郎師の「エック・ホモ」誕生のきっかけを作って下さった！感謝します。



長田 光夫 師 (92才)

(ブラジル自由)

メソジスト教団

リベルターデ教會

2012年、ご夫妻でアシュラムセンターに。和子母と親しくお交わり。2016年、三重アシュラムご参加、高齢者伝道、次世代への継承を祈られた。



→2024年2月ブラジルアシュラムにて、再会。同じファミリーの恵み。



クリスマス愛餐会。祈りから始まり、チャイムコンサート♪みんなのカフェいろいろの大山謙一シェフ、悠子母による恒例のカナッペ、特製カレーなど、見た目も味も芸術的！



京都葵教會でのるつこ姉コンサート後で。教會の皆様、保郎師時代からアシュラムセンターの働きを祈り支え続けてくださっています。帰り道、虹が4つも!!「裕さん、おとうちゃん、てる子、おかあちゃん!」と、るつこ姉談。

あとかぎ

いよいよ、新しい年が始まった。アシュラムセンターは、今年創立50周年の記念の年になる。まさに継続は力である。

しかし、この力は、私たち自身の力ではない。まさに「国と力と栄えとは、限りなく汝のものなればなり」である。この年、私たちは、この神を賛美し、褒め称え、感謝しよう。この小さな者をも、心に留めてくださったことを。

1月の年頭アシュラム、2月の台湾愛修会、6月の沖繩平和巡礼の旅、7月の天上の友を憶える日礼拝、11月の50周年記念国際正義平和アシュラムと記念行事が続くが、どうかそれぞれの時が、この主をおぼえる大切な時となりますように。(恵)



主を畏れることは知恵の初め、  
聖なる方を知ることは分別の初め。

箴言九章一〇節

創り主を知ることは一番大事です。和子

中止、又はオンラインに変更もあり。  
ホームページ、電話等でご確認下さい。直前の変更の場合あり!

【主な問い合わせ先】0748-33-4030 アシュラムセンター  
【Zoom・インターネット等 問い合わせ先】080-3983-8140

1月の聖書教室など

7(火)	Zoom聖書教室 (Zoom PM7:30)
10(金)	阪神ミニアシュラム (神戸聖愛教会 PM1:00)
11(土)	聖書と学ぶ会 (Zoom PM8:00)
13(月)	福岡聖書教室 (博多クリオコートホテル PM1:30)
19(日)	ちいろば牧師記念チャペル夕礼拝 (PM5:00)
20(月)	使徒書に学ぶ会 (Zoom AM10:30、PM7:30)
21(火)	大阪聖書教室 (大阪クリスチャンセンター AM10:30)
22(水)	みんなのカフェちいろば聖書入門講座 (京都・伏見区深草 PM1:30)
24(金)	センター聖書教室 (アシュラムセンター AM11:00)
27(月)	静岡聖書教室 (旧・英和女学院宣教師館 AM10:00、PM1:30)
28(火)	東京聖書教室 (御茶ノ水クリスチャンセンター 4F AM10:30)
28(火)	しみじみする会 (桜美林大学 荊冠堂チャペル PM2:30)
29(水)	美しい足の会 (Zoom AM10:30、PM7:30)
2/7(金)	阪神ミニアシュラム (神戸聖愛教会 PM1:00)

1月のアシュラムなど

**第50回 年頭アシュラム**

主 題 大事にすべき良いものとは?  
主題聖句 すべてを吟味して、良いものを大事にしなさい。  
テサロニケ5:21

16(水) 会場 ホテル琵琶湖プラザ  
18(土) 奉仕者 榎本 恵師・平野 克己師  
締 切 1月9日(木)  
会 費 24,000円(ツイン) 26,000円(シングル)  
Zoom参加も受付中! 会費12,000円 ファミリーあり!

ご参加お待ち  
しています!



2月以降のアシュラム予定

2月3(月)~5(火)	第42回 台湾愛修會
2月5(火)~7(木)	台湾ツアー
6月19(月)~22(日)	沖縄巡礼の旅
11月24(月)~26(水)	アシュラムセンター創立50周年記念 第20回 国際正義平和アシュラム in 近江八幡



↑アシュラムセンタークリスマス礼拝。ちいろばチャペルにて。この後、アンナ祈りの家にて愛餐会。

好評販売中!

←初アシュラムセンターカレンダー是非どうぞ! 1500円



献金のお願い

皆様のお祈り、お支えに感謝いたします。  
引き続きお祈りとご献金をお願い申し上げます。

キャッシュレス献金はこちらのQRコード  
または「オンライン献金.com」と検索ください。  
アシュラムセンター運営  
記号番号 01050-6-53772



みことば



日本キリスト教団取手教会  
牧師 金子敏明

「さあ、船を出そうぜ!」 ルカ5:1~11

伝道者ならば「先生、わたしたちは夜通し苦  
勞しましたが、何も取れませんでした」というシ  
モン・ペテロの言葉が身に染みるのではないか。  
13年前に着任した前任地の教会では、幼稚園は  
着任1年前に閉鎖し、信徒は高齢者ばかり。新  
来者もない。人が亡くなるばかりで年々教会か  
ら人は減っていきばかり。役員会も問題を抱えて  
いた。もうここで牧師続けていいのかな。そも  
も俺この仕事向いてなかったんじゃないか。

「イエス様、わたしは夜通しじゃないかもしれ  
ないけど、それなりに頑張っ苦勞もしたけど、  
何も宣教できませんでした」そんな言葉が何度  
も胸をよぎった。

アニメ『ルパン三世』はご存じだろう。私が  
小学生の時に開始され、今も再放送や映画がリ  
ピートされるアニメ界の傑作である。しかしふと  
疑問が湧いた。ルパンは世界を股にかけた大泥  
棒なのに、お宝を手に入れて大儲けした話が皆  
無なのだ。むしろ第三者の面倒くさい事情に振り  
回されたり、やりたくもない人助けをする羽目にな  
ったり…宿敵のはずの銭形警部と手を組んだり  
…お宝を盗むという本来の目的はどこへ行っ  
た?もって不思議なのは相棒たちではないか。

「なぜ次元や五右衛門は、稼げないルパンとい  
つまでも泥棒稼業を続けるのだ…? 峰不二子  
だって他に大金持ちの男がいるではないか。銭  
形警部だってICPO在籍のエリートだ。ルパンな  
どより他の犯罪に関わればより出世が望めるで  
はないか!」私は真剣に考えこんでしまったので  
す。なぜ彼らはそうまでルパンにこだわるのだろ  
うか?

思うに次元や五右衛門たちにとってお宝ゲッ  
トは二の次なのだろう。ただルパンと旅をするこ  
とで出くわす、あれこれの出会いやドラマそのも  
のに人生の意味を見出しているように思える。金  
塊や札束なんかよりも、遥かに価値のある「お宝」  
なのだ。

牧師の人生も同じかもしれない。私の目には網  
は空っぽにしか見えなかった。けれど実は神様  
はその間もたくさんの魚を私の投げた網の中に入  
れて下さっていたのだ。人が来てくれないと嘆  
いた時、教会の財政に頭を抱えた時、深刻な事  
情を持つ人と関わってどうしたらよいかわからな  
かった時、実はルパン三世いうところの「お宝」、  
イエス・キリストが与えられる「高価な恵み」が  
私に注がれていたのだ。

福音宣教の業は虚しく感じることもばかりかもし  
れない。何をやっても無意味に感じられもする。  
だけどそれは私たちに見えてないだけのことで、  
実は多くの神様の祝福に満ちている。心の目を  
開かれない。



「早天祈禱会の祈りより」私達の教会に、最も大事な：石の板二枚しか入っていない神の箱が：飼い葉桶の主が：この聖霊の雲に満たされたものが与えられますように。(歴・下5) 恵